

編集後記

◆編集委員になって早や5年。楽しくやらせてもらっています。特別な技術はいりません。月1回の会議は負担になりません。若い人の感性が必要です。編集委員をやってみませんか。

(伊原)

◆長年使用させていた平田マンシヨンの利用終了により、貸会議室での編集会議に。編集委員の皆さんには不便もあったかと思いますが、無事発刊となり関係者の皆様に感謝申し上げます。

(今村)

◆2月に「囲碁の会」有志で故平田達弁護士墓参に行ってきました。墓石に刻まれた「人の目線にたつ」の碑文は、人を愛し郷土を愛した先生のお人柄をそのまま表していると思いました。

(大原)

◆猛暑とゲリラ豪雨に閉口しながらも、無事に「稻穂」第21号を発刊することができました。発刊継続には、会員の皆様の協力と若人の編集委員への参加が必須と強く思っています。

(岡田)

◆郵便料金、宅配便の値上げで、在京同窓会「稻穂」の在り様が問われることになった。同じ学び舎を3年間送っただけのつながり。そこで生まれた人間関係が、かけがいのないものになっていることを伝えていきたい。(栗下)

◆コロナ禍も落ち着き、編集会議の約半分会場となったが、会議後に行った「しんみち通り」の居酒屋は新しい親交の場となりました。

(柳原)

◆朝5時起きで1時間余、町内のボイ捨て煙草・落ち葉退治の道路掃除も早や10年余。やってみる事で仲間も出来、町内は誠に奇麗です。仲間を替める一方、我身を替えています。

(佐々木)

◆今回もフレッシュトリックを担当させていただきました。前向きに頑張っている姿に刺激をもらいました。飯田高校出身で挑戦している方がいることを多くの方に伝えられればと思います。

(菅沼)

◆神坂時^{菅沼}・菅沼のロマンに想いをさせながら、この夏の暑さに耐え忍びました。そして、21号誌面の編集・発刊ができたことへの喜びを噛みしめています。

(長沼)

◆「水泳班OB対談」の矢澤章弘さんは私が水泳班時代の100mバタフライ県記録保持者です。すでに社会人でしたし、国体出場のため母校のプールで我々を横目に一人黙々と練習していた姿を思い出しました。

(原)

◆忘却の快感を味わえる高齢になり候。特に嫌なことは瞬時に忘れるから有難い。だが大切な事の忘却は困る。編集後記の締め切りもそうだった。生きている限りは微力ながらも協力しようと思いつつ。

(牧内)

◆いよいよ校正原稿の文字が見づらくなりましたが、復活した対面編集会議とその後の飲み会を楽しみに頑張っています。皆さん！いつでも編集委員を募集しております。

(松原)

◆クロネコDM便廃止の影響は大きく、対応策に悩んだ1年でした。来年からはHPのWeb「稻穂」を読んだ方が「稻穂」を手に取りたくなっています。

(松村)

◆こんなはずではなかったのに！という状況が増えてきた。身体を動かすのが億劫、集中力が続かない、細かな作業が面倒、音が聞き取りにくい、等々。健康年齢を延ばす努力をしたいものです。

(三ツ橋)

◆毎号「編集後記」に頭を悩ませます。「稻穂」への思いを80字程度にまとめるなんて難しく過ぎ……。ということで、今号も、皆さま「ありがとうございました」。

(茂木立)

「稻穂」第21号

発行 在京飯田高校同窓会

〒102-0073

東京都千代田区九段北1-14-17

AMINAKA九段ビル1階

神原・松本税理士事務所内

03-3233817931

発行日 2022.4令和6年10月1日

発行人 今村昭文 (高24回)

編集長 栗下修一 (高21回)

副編集長 長沼寛 (高21回)

同 原誠 (高23回)

同 茂木立みどり (高36回)

特別編集委員 牧内雪彦 (中47回・高1回)

同 佐々木康夫 (高15回)

同 伊原信夫 (高19回)

編集委員 大原直 (高21回)

同 三ツ橋史緒子 (高22回)

同 岡田孝明 (高25回)

同 榊原雅直 (高31回)

同 松村尚哉 (高32回)

同 菅沼大樹 (高51回)

装丁設計 酒井崇 (高49回)

DTP 有限会社ベラビスタスタジオ

印刷・製本 有限会社宮水印刷

編集委員大募集!!

「稻穂」の編集委員を募集します。在京飯田高校同窓会会員ならどなたも歓迎。編集経験など予備知識も一切不要です。ふるさとを愛する仲間たちとワイガヤしましょう。

応募は氏名、卒業同級、連絡先を明記のうえ

メール nakagawa@aminka.or.jp へ

またはFAX 03-5341-4399へ